



# 絵ハガキを展示

## 明治と昭和初期の熊野

田辺市本宮町

田辺市本宮町の県世界遺産センターは、市本宮行政局1階の同センター交流スペースで、明治から昭和初期にかけて撮影された熊野三山などの絵ハガキを展示している。

熊野三山などを写した絵ハガキを展示している（田辺市本宮町で）

入場は無料。28日まで。

絵ハガキは、北山村立北山小学校校長の中瀬古友夫さん（新宮市在住）が収集した。同センターが中瀬古さんから絵ハガキを借りて、見やすいように写真を引き伸ばし、パネルにして展示している。各写真に解説を付けている。テーマは熊野三山とその周辺地域。本宮町の川

湯温泉郷や湯の峰温泉郷の全景、熊野那智大社の例大祭の様子、熊野川を走る初期のプロペラ船など20点の写真が並び、熊野古道を訪れた観光客や地元住民らを楽しませている。

同センターは「各地域を特徴付ける風景を選んだ。当時の生活文化を読み取ることができる貴重な資料をぜひ見てほしい」と来場を呼び掛けている。

時間は午前9時～午後5時。無休。問い合わせは同センター（0735・42・1044）へ。